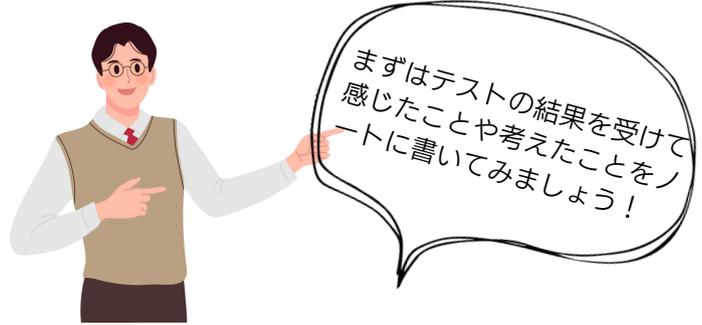




学びの基本ステップ(後半) 4つのステップのうち、後半の2つを紹介します。

(3)分析

テスト(=問題を解く)の結果を自分で分析します。
→間違いの原因を確認したり、同じ間違いを繰り返さないための対策を考えたりすることが目的です。



“ “
分析例1
解いてみて感じたこと(悔しい気持ち等)や考えたことを言語化してみましょう。
” ”

$$\begin{aligned} (9) (x-2)^2 &= x^2 - 4x + 4 \\ (10) (x-5)^2 &= x^2 - 25x + 25 \end{aligned}$$

悔しい!
(9)はできたのに

$$\begin{aligned} (19) (x-5)(x+3) &= x^2 - 2x - 15 \\ (20) (x-4)(x-3) &= x^2 - 7x + 12 \end{aligned}$$

先生に教えもらったとは3
ちゃんとできた!

“ “
分析例2
間違えたところだけでなく、自分が今までできなかった問題ができるようになった所にも着目してみましょう。
” ”

“ “
分析例3 慣れてきたら以下の確認を!
①問題をちゃんと読んでなかった。
②まったく解き方が分からなかった。
③解き方などを分かっていたのに間違えた。
→数学: 符号のミス? 計算のミス?
国語: 部首のミス?
” ”

$$\begin{aligned} (9) (x-2)^2 &= x^2 - 4x + 4 \\ (10) (x-5)^2 &= x^2 - 25x + 25 \end{aligned}$$

(4)練習

苦手や弱点を乗り越えるため、間違えた原因に合った練習方法で克服します。

練習例

①もう一度何も見ないで解き直しをします。

分析がしっかりできているかを確認することができます。

②何度も書いて練習します。

英単語や漢字を再度覚え直すときは繰り返し書きましょう。

③あとで読み返すことのできる解説をつくります。

特に理科や社会で有効です。

間違えたところを中心に解説を作ると「自分だけの参考書」になります。

学びの基本 4つのステップまとめ

さっそく行動に移してみましょう！！

